

Sustainable Report No.163

建物緑化の環境的価値と 今後の展望

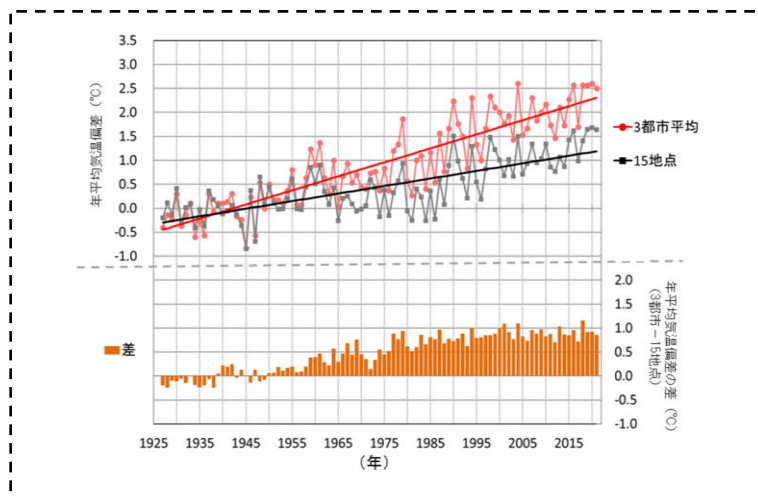


Satisfactory

■ ヒートアイランド現象の原理と生活への影響

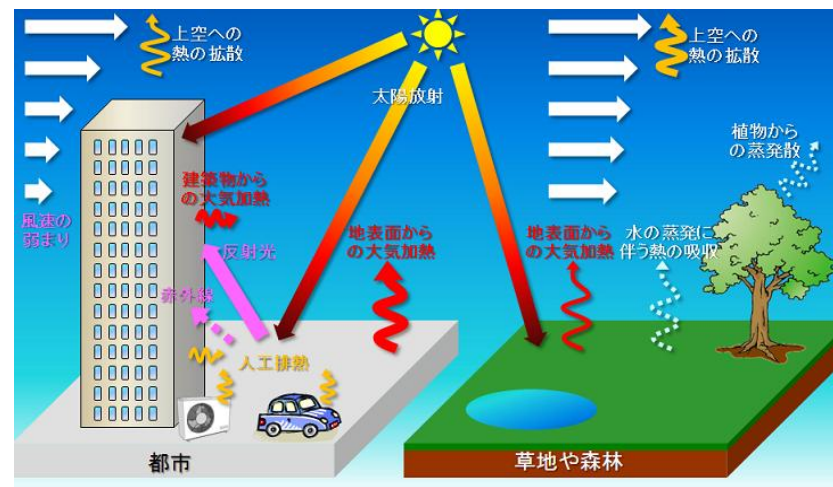
- 進行する都市化とともに**ヒートアイランド現象**が深刻化し、東京・名古屋・大阪の3大都市では 1940～2021年にかけて年平均気温が2.3℃上昇した
- アスファルトやコンクリート等の**人口被覆域**の拡大により、日中の熱の保持と夜間の大気への放出が起こる
- 気温の上昇による熱中症などの**健康被害**や、感染症を媒介する蚊の越冬等の**生態系の変化**が懸念されている

■ 3大都市における年平均気温の推移



出典：左右ともに国土交通省

■ ヒートアイランド現象の原理



建物を緑で覆う、「壁面・屋上緑化」の可能性

■ 「Green Springs」 (東京都・立川市)

- 多摩地域を中心に不動産開発を展開する立飛ホールディングスが2020年4月に“空と大地と人がつながるウェルビーイングタウン”をコンセプトとして「**GREEN SPRINGS**」を開設した
- カスケードやビオトープを屋上広場部に導入することで**人工被覆域を縮小**しつつ、**都市景観**にも優れ、地域の**生態系**や**人々のネットワーク**の拠点となる環境づくりを行った
- こうした象徴的な取り組みを先駆けとして、新築や既存を問わず、都市に溢れるマンションやオフィスビルでの緑化の推進が求められる

■ 屋上壁面緑化コンクール 国土交通大臣賞受賞



出典：国土交通省都市局

■ 駅と公園を結ぶ「まちの縁側」



出典：GreenSprings公式ホームページ

都市部の緑地を増やしていくためには

■ 課題点と将来の展望

- 都市景観や地域の人々に好影響を与えたとしても直接的に**企業や物件価値向上**に結びつけることが困難である
- 屋上・壁面緑化による環境価値を定量化し表現することで、導入にかかるコストを
サステナビリティ戦略の一環として認識できることが理想である
- 建物の特徴に合った緑化方法や植栽を選定しつつ、**CO2排出量**や**エネルギー使用量**と紐付けながらの導入

■ 環境価値定量化の例

環境省 J-クレジット制度

「屋上緑化による空調に用いるエネルギー消費削減」
(方法論番号:EN-S-027)

条件：①既存の建築物に対して緑化。
②プロジェクト実施前に対象建築物に空調設備が存在し使用。

対象：空調設備等の使用に伴う電力又は化石燃料の使用におけるCO₂排出

「排出削減量＝ベースライン排出量－プロジェクト実施後排出量」



出典：Jクレジット制度事務局

環境、社会、企業 すべてにとって持続可能な選択を

■ 参照・引用資料

- 国土交通省 気象庁,「ヒートアイランド現象」,2023年1月30日 (URL:https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/himr_faq/02/qa.html)
- 公益財団法人都市緑化機構, 第21回屋上・壁面緑化コンクール」,2023年1月30日(URL: <https://urbangreen.or.jp/cfaforestation/af21-01>)
- 経済産業省 環境経済室「Jクレジット制度について」,2023年1月30日 (URL: <https://japancredit.go.jp/about/>)
- GREEN SPRINGSホームページ,2023年1月30日 (URL : <https://greensprings.jp/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先 : info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『[KIZUNA ESD](#)』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

—— サステナブルレポートとは？ ——

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中